

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 坂東市立岩井第二小学校

担当教諭名 丸山 禎子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 23年 11月 1日 (火)	1 : 5 0 ~ 3 : 2 5
対象学年と人数	全校児童 578名	
派遣講師名と出身国	王 清 (中国) 新垣 マリア (ペルー)	
活動の内容	・母国語のあいさつ・自己紹介 ・中国、ペルーの紹介(自然環境、学校、食べ物、動物、文化など) ・民族舞踊(中国・ペルー)	
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 毎年参加させていただいています。いろいろな国の講師の先生を派遣していただき、子どもたちは毎年違った国のお話が聞けるので、それだけで興味関心を高められます。	
生徒・保護者等参加者の感想	中国とペルーの位置が分かりました。日本と中国が近くて、日本とペルーがものすごく遠いのでびっくりしました。(児童) 民族衣装が素敵でした。中国はキラキラで、ペルーはスカートがひらひらしていてかわいかったです。また、踊りが印象的でした。(児童) 中国の遊びやお金を紹介してもらって楽しかったです。(児童) 遠いペルーが近くに感じられました。中国も、そう遠い国ではないので、大人になったら行ってみたいです。(児童)	
先生の感想	本校では毎年、国際理解教育の一環として、外国人との交流を通して、外国に対する興味や関心を高めることを目的としたワールド集会を実施しています。 今年は、中国とペルーの講師の先生をお迎えしてお話を聞くことができました。写真がたくさん用意され、また、それぞれの国の衣装やグッズをたくさん持ってきていただき、お話だけではわからないことを肌で感じられたと思います。さらに民族舞踊を見せてくださり、音楽も踊りも二つの国で全く違うことがわかりました。短い時間で急ぎ足になってしまったので、もう少しゆっくりとお話が聞ければよかったですと思いました。(担当教諭)	

